

ちよつとそこまで ～お散歩日和(地域編)～ としまえん

「豊島園」を取り上げたいと思います。

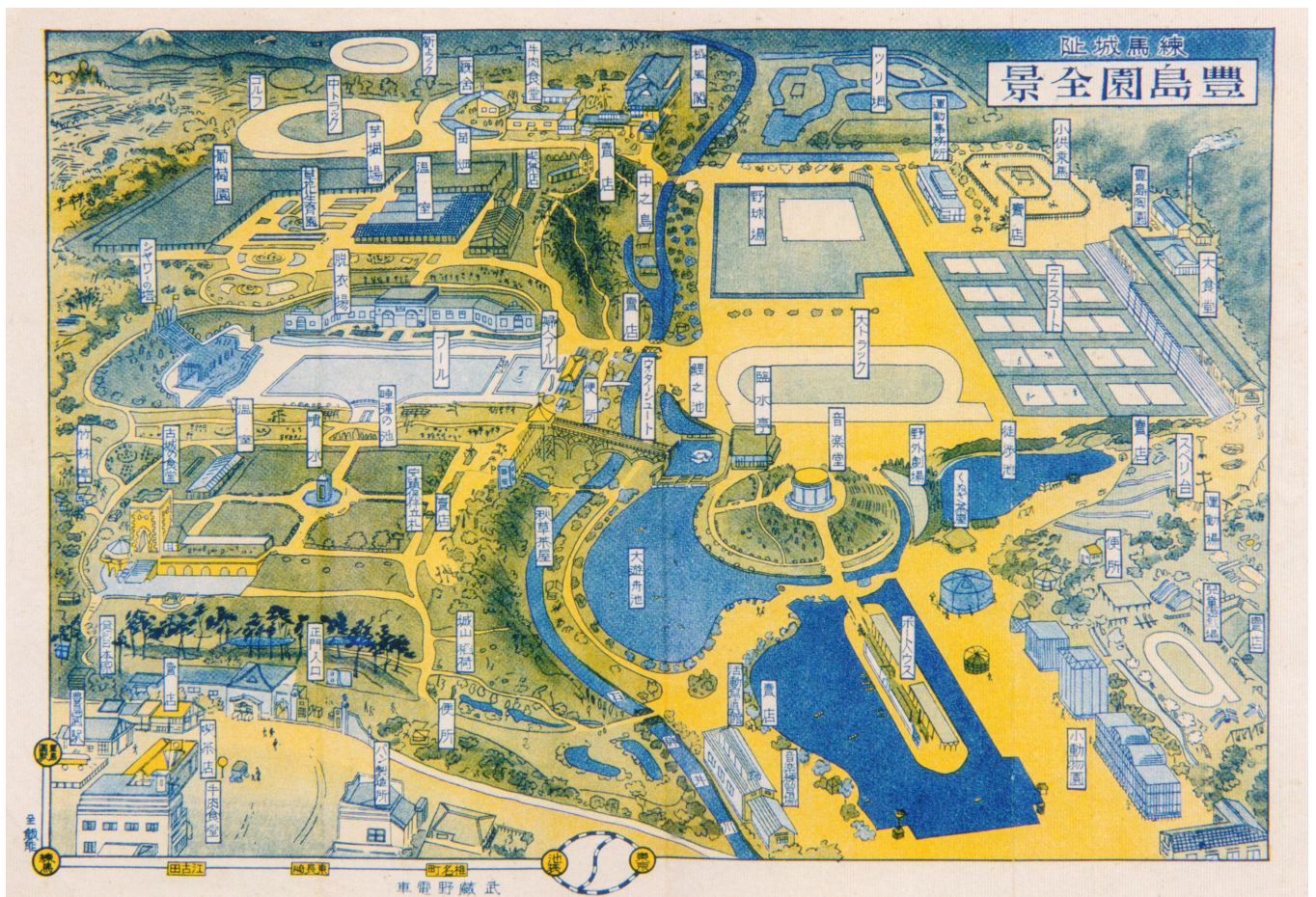
2020年に閉園してしまった「としまえん」(以下、豊島園と表記します。)で、今一番の話題は右の写真の建物でしょう。正面入り口のすぐ左側にあって、長く「木馬の会」の事務所として使われていた「古城食堂」です。後掲の地図や写真でもご確認ください。今、練馬城址公園としての整備が行われていますが、その保存運動が行われているからです。折角ですから、何とか残したいものです。



さて、豊島園の創立ですが、大正15年(1926年)のことでした。それまで、実業家の藤田好三郎が練馬城址に自身の静養地を設けたのを契機に、更にその周辺まで敷地を拡張するとともに、温室や庭園を設け、池を掘るなどの環境を整えていきます。当初は自分の住居としての邸宅造りを考えていたようですが、時勢を考え断念し、その景勝地を一般公開したことが始まりとなっています。当初の名称は「練馬城址 豊島園」でした。

藤田好三郎については、当時の経済紙でその言動が数多く取り上げられるほどの、時代の寵児だったようです。しかし、この頃がピークで、以降、豊島園も昭和6年には競売にかかるなど、表舞台から消えていくことになります。

創立当時の豊島園全景地図と、昭和10年ごろの絵葉書です。照合させながら見ると楽しいでしょう。





花壇



サンマーハウス



日本庭園



プール



ウォーターシュート



音楽堂



睡蓮の池



清流



ボートハウス



噴水



城山稲荷



遊船池



古城の塔



城山稲荷



ボート池から音楽堂遠景

豊島園絵葉書 昭和10(1935)年前後 館蔵

最後に1つだけ触れておきます。

練馬城址の場所ですが、入場してすぐ左手に花壇がありました。ここから奥のハイドロポリスまで小高い丘になっています。それでも、道路の辺りはかなりかさ上げしているの、その落差を見落としがちですが、この小高い丘の上に練馬城が建っていました。

よく見ると、写真の左奥に小さく古城食堂があるのにも気付くでしょうか。

(終)

